

## 令和元年度岡山市環境衛生大会

## 環境美化やごみ減量で 15人5団体表彰

第45回岡山市環境衛生大会（市環境衛生協議会、市主催）が市役所本館7階大会議室で開かれ、環境美化やごみの減量に長年取り組んでいる15人5団体が表彰されました。約100人が出席し、大森雅夫岡山市長と同協議会の室田勉会長が対象者に表彰状を手渡しました。

今回、御野学区では市長表彰には北方四日市町内会（大和田黎子会長）市環境衛生連合協議会長表彰に中井町二丁目町内会（島村邦彦会長）が受賞しました。次に、ごみの減量化や資源化に努めることを盛り込んだ大会宣言を採択し、不法投棄の防止やマイバック持参運動の推進など10項目に取り組む事を決めました。



大森雅夫岡山市長



室田勉市環境衛生連合協議会長



今回の記念講演は環境省中国四国地方環境事務所災害廃棄物対策専門官 山田耕市氏による「災害廃棄物の取組みについて」でした。

司会 横田徹岡山市環境衛生  
連合協議会会計理事

| 平成30年7月豪雨による被害の特徴 |   |
|-------------------|---|
| 主な被災県             | 被害の特徴                                   |
| 岡山県               | 水害 ●堤防の決壊、河川の氾濫による浸水被害（倉敷市等）            |
| 広島県               | 土砂災害 ●土砂崩れによる被害（坂町、呉市等）                 |
| 愛媛県               | 水害 ●堤防の決壊、河川の氾濫、ダム等の複合的な要因による浸水被害（大洲市等） |
| 土砂災害              | ●土砂崩れによる被害（宇和島市等）                       |

➡ 地域によって被災状況が大きく異なる。

## 【平成30年7月豪雨における、災害廃棄物処理の課題】

## ※混雑化させてはならない理由

- 多くの一般廃棄物処理施設で混雑の処理ができないため、別の場所に運搬し分別処理したり、産業処理企業へ処理委託することにより、処理期間、費用（処理費、運搬費など）が増加してしまう。
- 混雑の搬出ルートを確認できない場合は、仮置場への搬入もできなくなり、住民の生活環境が悪化してしまう。
- 腐敗性廃棄物や有害廃棄物、さらに生活ごみが混入することで、仮置場の環境が悪化してしまう。

## 4. 受援体制構築の遅れ

- 派遣して欲しい人材の要件（専門、経験）や収集運搬の車種や台数などの支援ニーズがうまく発信されない、支援体制とニーズとのミスマッチが発生し、支援の質と効率が低下する。
- 災害廃棄物の収集運搬、処理、仮置場の運営管理などに係る民間団体との手続きや契約行為の遅れ

(提供) 御野地区環境衛生協議会会長 横田 徹